

平成26年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

施設名	大和市緑野児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター緑野会館管理運営委員会 会長 笠間 泰雄
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
緑野	657	12,136	306	2,020	15,119	49.1	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
入学おめでとう月間・壁面工作	4/15～30	29人
卓球教室（全11回。4～2月に毎月1回開催）	4～2月	述べ117人
避難訓練	6/3・12/19	30人・40人
星にねがいを（短冊飾り）	6/27～7/6	43人
七夕のつどい	7/6	27人
こども映画会（交通安全の映画）	7/16	24人
夏休み工作	8/29	18人
ハッピーハロウィン	10/22	16人
クリスマス会	12/7	105人
昔遊びウィーク（かるた・コマ回し・あやとり他）	1/20～23	32人
二人はなかよし（おひなさま工作）	2/27	10人
春・ラ・ラ・ラ（1年間の振り返り・来年度の抱負）	3/20	21人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,378,520
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	134,637
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,513,157
収支決算	843		

※収支差額 843 円は、平成 27 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 27 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 26 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設の使用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。
- ・利用者アンケートでは、スタッフの対応については、回答者の 100.0% (前年：100.0%) が「よい」～「ふつう」との結果が出ており、高水準を維持していることは高く評価します。また、週に 1 回以上児童館に来る方が回答者の 74.0% (前年：76.0%) と若干減少しているものの、高いリピート率を誇っていることも高く評価します。
- ・児童館利用の人数が前年度比 108.3% と増加していることに加え、市内に 22 館ある児童館の中で利用者数が最も多いことは高く評価します。
- ・アンケートの回収率についても、前年度に引き続き 100.0% を維持している点について評価します。今後も利用者の意見を聴取し運営の参考としてください。

評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。
- ・工作やハロウィン仮装パーティーなどにおける利用児童の要望を可能な限り取り入れた事業運営について、高く評価します。
- ・また、卓球大会やお話し会など、地域のボランティアの方々に協力を得ながら、多世代の交流を図っている点についても評価します。
- ・今後も他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、更なる地域での青少年健全育成と利用者の増加を図ってください。

評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。

評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。
- ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。